

生活支援体制整備

第5号 令和2年10月

発行：遠賀町社会福祉協議会

事業だより

今年度のスローガン！！

お互いさまでつながる遠賀

ご存知ですか？子どもの貧困！

日本の「子どもの貧困率」 13.5%

2020/7/20 日本経済新聞

日本の子どもの7人に1人が相対的貧困



子どもの貧困の状況は、非常に「見えにくい」ということ。

福岡県は、2013～14年度の統計データを基にした西日本新聞の試算では、就学援助を受けるなど、経済的に貧困状態にあると推測される子ども（18歳未満）の数が、全体の23.0%で、ほぼ4人に1人に近づいています。

また、福岡県子どもの貧困対策推進計画（平成28年度作成）の中でも、福岡県は、生活保護や就学援助の状況を勘案すると、子どもの貧困率は、全国数値を上回っているのではないかと考えられています。子どもの貧困問題は、気づいていないだけで、既に皆さんの身近な問題となっています。

貧困は「絶対的貧困」と「相対的貧困」の二つある。

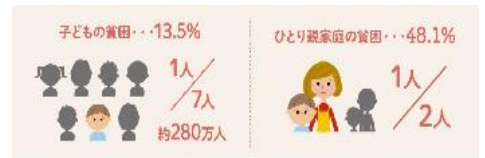
「絶対的貧困」は、

人間として最低限の生存を維持することが困難な状態を指します。

「相対的貧困」は

その国の文化水準、生活水準と比較して困窮した状態を指します。

今、日本で問題視されているのは、「相対的貧困」で、個々の世帯収入状況によるため、困窮状態が「見えにくい」という特徴があります。



※ 2019年 国民生活基礎調査（厚生労働省）

今、何故、地域食堂の意義って

子どもの貧困問題

見えないだけで、経済的困窮からくる、摂食の問題（1日に3食取れない）・孤食問題（食事はいつも一人）・児童の虐待（仕事で家族の不在）など、たくさん問題を含んでいます。



今、「地域食堂」が多くの地域で開催されています。

今回は、「子どもの貧困」を中心にしましたが、孤食問題などは独居高齢者をはじめ、大人も同様の問題を抱えています。多くの地域で、「見えない貧困」対策として、温かい食事をみんなでと「地域食堂」が始まっています。

「子どもの貧困」は見えていないだけで、どこにでもある問題です。その一助となるように食材の確保のためのフードドライブ、地域食堂開催に向けた検討などを進めており、皆さまのご理解ご支援をお願いします。

突然ですが、新型コロナウイルスの感染防止対策を行っていますか??

「全国的にも感染者が減ったから…」と油断していませんか??

確かに、どんなに対策をしても感染する可能性はありますが、

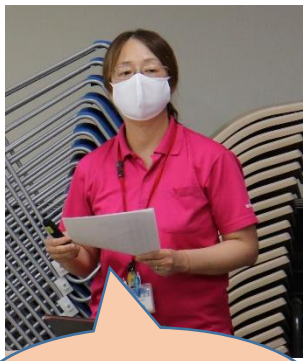
少しでも感染リスクを下げるために、日頃からの予防を徹底しましょう。

最新の研究結果によると、水とハンドソープでもウイルスを減らすことが明らかになりました。

これからの時期、インフルエンザの対策予防も必要となりますので、様々なウイルスから身を守るために、手洗いを徹底しましょう。

10月に入り、町内のサロン活動の予定地区も増えつつあります。

一人一人の心がけが感染予防の大きな力になりますので、引き続き、感染防止を徹底しましょう。



サロン担当の
平原です



(参考文献) 森功次他: 感染症学雑誌.80:496-500(2006)



芙蓉区サロン活動の様子 ~ 湊上先生 ~



松の本区サロン活動の様子 ~ 一井先生 ~



緑ヶ丘区サロン活動の様子 ~ 田仲先生 ~



旧停区サロン活動の様子 ~ 花田先生 ~

遠賀町社会福祉協議会 (ふれあいの里内)

☎ 293-0430 FAX 482-8880

(火~土曜日 8:30~17:15)